

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成27年12月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター



# 目 次

## I 事後調査の概要

- 1. 調査概要 ..... I - 1
- 2. 工事の実施状況 ..... I - 3
- 3. 調査結果の概要 ..... I - 4

## II 事後調査結果

- 1. 大気質 ..... II - 1
- 2. 水質 ..... II - 9



## I 事後調査の概要



## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 27 年 12 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要（平成 27 年 12 月）

### 埋立地周辺における調査

#### (1)大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	12月1日～30日	通年連続

#### (2)水質（一般項目）表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	12月1日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

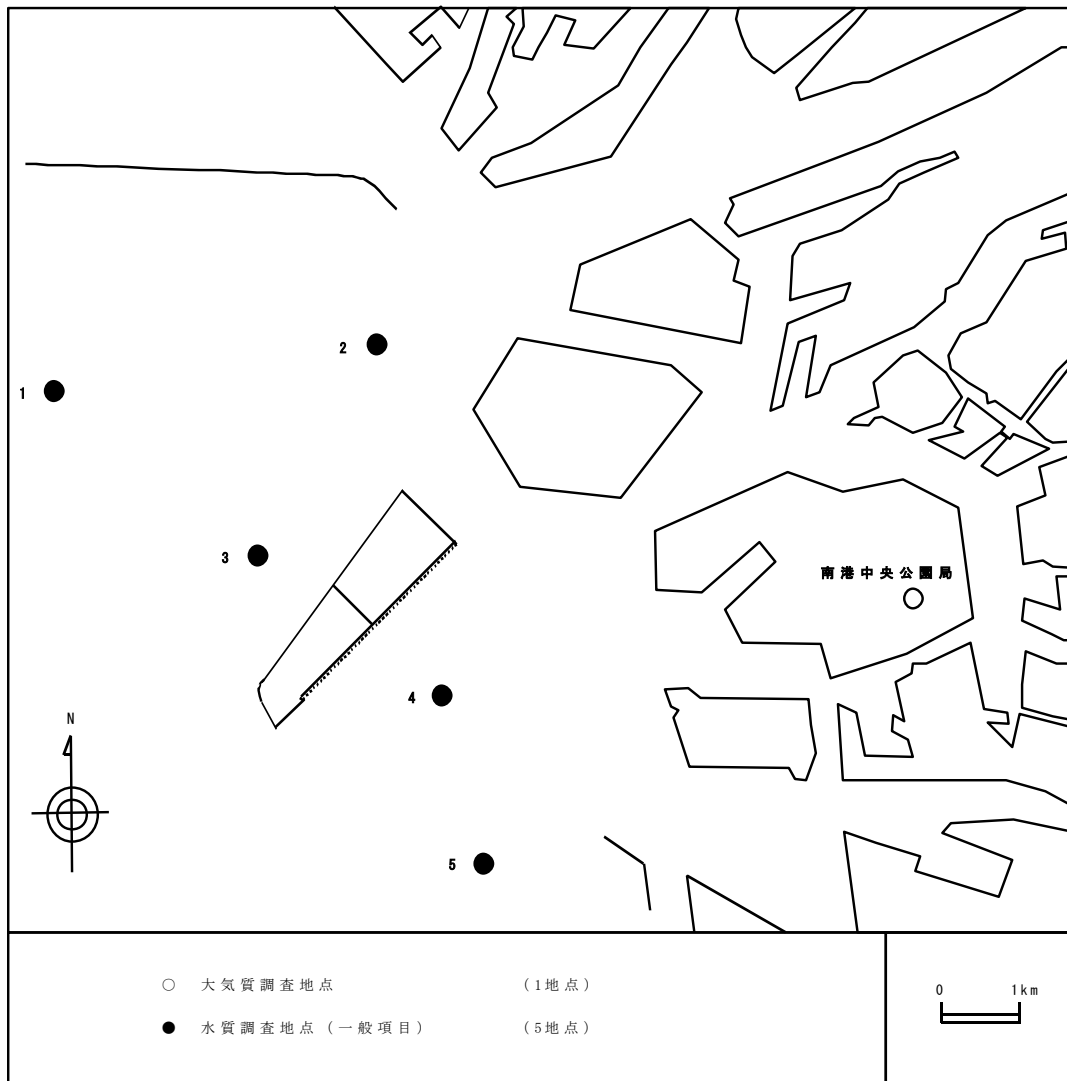


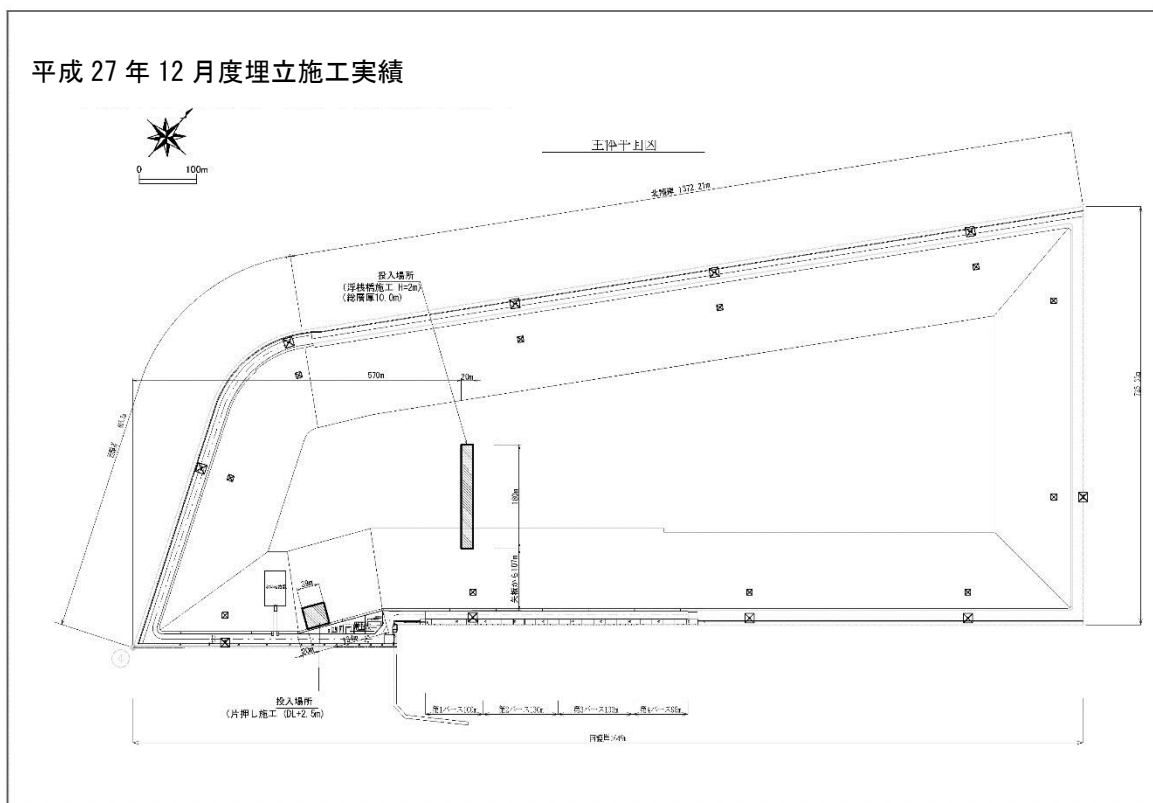
図-1 大気質、水質(一般項目)の調査地点 (平成 27 年 12 月)



## 2. 工事の実施状況

平成 27 年 12 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。

大阪沖処分場平面図



埋立量 (m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
3,524,264	25.2

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (平成 27 年 12 月)

### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1～8号]

###### 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】

二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.006ppm であった。また、日平均値の最高値は0.010ppm、1時間値の最高値は0.022ppm であり、環境基準値を下回っていた。

###### 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.026ppm であった。また、日平均値の最高値は0.043ppm であり、環境基準の範囲内であった。

###### 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.021mg/m<sup>3</sup>であった。また、日平均値の最高値は0.030mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は0.056mg/m<sup>3</sup>であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質（一般項目） [水質様式第1号]

###### 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.0～8.1の範囲、下層で8.1であり、上層、下層のいずれも全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

###### 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.2～3.1mg/L、下層で1.9～2.1mg/Lの範囲にあり、上層では調査地点2において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点2 (3.1mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成12年度）は上層で1.6～4.9mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

###### 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で7.5～7.9mg/L、下層で6.8～7.5mg/Lの範囲にあり、上層、下層のいずれも全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

###### 4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で0.52～0.78mg/L、下層で0.28～0.35mg/Lの範囲にあり、上層では調査地点1、2、4において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.73mg/L)、調査地点 2 (0.78mg/L)、調査地点 4 (0.70mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全磷 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg/L 以下】

全磷 (T-P) は上層で 0.058~0.099mg/L、下層で 0.036~0.047mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.073mg/L)、調査地点 2 (0.080mg/L)、調査地点 3 (0.058mg/L)、調査地点 4 (0.072mg/L)、調査地点 5 (0.099mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 0.7~2.1 度(カリン)、下層で 0.6~3.3 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で報告下限値未満 (<1 mg/L) ~1mg/L、下層で報告下限値未満 (<1 mg/L) ~2mg/L の範囲であった。

8) クロフィル a

クロフィル a は上層で 1.6~3.5  $\mu$ g/L、下層で 1.6~2.3  $\mu$ g/L の範囲であった。

## 《 参 考 》

### ■環境基準等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

##### (2)水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。

なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

## 2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。  
 2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。  
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。



## II 事後調查結果





大気質測定結果総括表 [平成27年12月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	5
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成27年12月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (火)	0.006	0.010
	2 (水)	0.006	0.012
別	3 (木)	0.004	0.006
	4 (金)	0.004	0.007
	5 (土)	0.005	0.010
	6 (日)	0.004	0.008
	7 (月)	0.005	0.007
	8 (火)	0.005	0.011
	9 (水)	0.008	0.017
	10 (木)	0.005	0.012
	11 (金)	0.003	0.006
	12 (土)	0.005	0.008
値	13 (日)	0.005	0.012
	14 (月)	0.009	0.017
	15 (火)	0.010	0.015
	16 (水)	0.008	0.012
	17 (木)	0.005	0.008
	18 (金)	0.005	0.011
	19 (土)	0.005	0.009
	20 (日)	0.006	0.010
	21 (月)	0.006	0.009
	22 (火)	0.007	0.021
	23 (水)	0.004	0.007
	24 (木)	0.007	0.012
	25 (金)	0.006	0.012
	26 (土)	0.007	0.010
	27 (日)	0.005	0.009
	28 (月)	0.006	0.017
	29 (火)	0.005	0.009
	30 (水)	0.006	0.008
	31 (木)	0.006	0.022
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.006	
日平均値の最高値 (ppm)		0.010	
1時間値の最高値 (ppm)		0.022	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。  
その場合、日平均値の集計の対象としない。  
2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）  
は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [平成 27 年 12 月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (火)	0.036	0.160
	2 (水)	0.034	0.140
	3 (木)	0.009	0.042
	4 (金)	0.003	0.005
	5 (土)	0.002	0.004
	6 (日)	0.003	0.015
	7 (月)	0.009	0.041
	8 (火)	0.020	0.075
	9 (水)	0.046	0.118
	10 (木)	0.025	0.080
別	11 (金)	0.004	0.022
	12 (土)	0.003	0.006
	13 (日)	0.006	0.022
	14 (月)	0.045	0.116
	15 (火)	0.036	0.084
	16 (水)	0.008	0.024
	17 (木)	0.004	0.010
	18 (金)	0.008	0.018
	19 (土)	0.011	0.094
	20 (日)	0.011	0.044
値	21 (月)	0.047	0.102
	22 (火)	0.063	0.314
	23 (水)	0.013	0.064
	24 (木)	0.027	0.078
	25 (金)	0.014	0.060
	26 (土)	0.003	0.007
	27 (日)	0.002	0.003
	28 (月)	0.013	0.041
	29 (火)	0.003	0.005
	30 (水)	0.014	0.052
	31 (木)	0.007	0.021
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.017	
日平均値の最高値 (ppm)		0.063	
1時間値の最高値 (ppm)		0.314	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。  
 その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）  
 は、現時点では未確定値である。

大気質様式第4号（埋立地関連）

二酸化窒素測定結果 [平成27年12月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (火)	0.032	0.047
	2 (水)	0.042	0.073
	3 (木)	0.022	0.039
	4 (金)	0.010	0.021
	5 (土)	0.013	0.026
	6 (日)	0.017	0.034
	7 (月)	0.026	0.042
	8 (火)	0.031	0.041
	9 (水)	0.043	0.065
	10 (木)	0.038	0.052
別	11 (金)	0.017	0.035
	12 (土)	0.021	0.036
	13 (日)	0.023	0.034
	14 (月)	0.043	0.067
	15 (火)	0.041	0.058
	16 (水)	0.023	0.031
	17 (木)	0.013	0.021
	18 (金)	0.024	0.043
	19 (土)	0.017	0.045
	20 (日)	0.027	0.047
値	21 (月)	0.038	0.049
	22 (火)	0.041	0.068
	23 (水)	0.033	0.048
	24 (木)	0.034	0.043
	25 (金)	0.028	0.041
	26 (土)	0.014	0.023
	27 (日)	0.009	0.018
	28 (月)	0.027	0.040
	29 (火)	0.015	0.036
	30 (水)	0.030	0.047
	31 (木)	0.019	0.039
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.026	
日平均値の最高値 (ppm)		0.043	
1時間値の最高値 (ppm)		0.073	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		5	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。

その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第5号（埋立地関連）

窒素酸化物（NO+NO<sub>2</sub>）測定結果 [平成27年12月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日	1 (火)	0.067	47.1	0.207
	2 (水)	0.076	55.4	0.213
	3 (木)	0.030	71.6	0.081
	4 (金)	0.012	79.1	0.025
	5 (土)	0.015	84.5	0.029
	6 (日)	0.019	85.9	0.049
	7 (月)	0.035	74.6	0.083
	8 (火)	0.051	60.1	0.110
	9 (水)	0.089	48.5	0.183
	10 (木)	0.063	59.7	0.131
別	11 (金)	0.021	79.6	0.057
	12 (土)	0.024	87.6	0.040
	13 (日)	0.029	80.1	0.051
	14 (月)	0.087	48.6	0.160
	15 (火)	0.077	53.5	0.128
	16 (水)	0.030	74.7	0.048
	17 (木)	0.018	75.8	0.028
	18 (金)	0.032	75.7	0.061
	19 (土)	0.028	60.8	0.139
	20 (日)	0.038	71.8	0.075
値	21 (月)	0.086	44.7	0.151
	22 (火)	0.103	39.3	0.376
	23 (水)	0.045	71.8	0.112
	24 (木)	0.061	56.2	0.114
	25 (金)	0.042	66.0	0.097
	26 (土)	0.017	83.1	0.030
	27 (日)	0.011	82.0	0.020
	28 (月)	0.041	66.8	0.080
	29 (火)	0.018	83.9	0.041
	30 (水)	0.043	68.5	0.088
	31 (木)	0.026	73.9	0.058
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		740		
月平均値 (ppm)		0.043		
日平均値の最高値 (ppm)		0.103		
1時間値の最高値 (ppm)		0.376		
月平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		60.5		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>) の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) = \frac{(\text{NO} \text{ 及び } \text{NO}_2 \text{ が同時測定されている時間のNO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和)} / (\text{NO} \text{ 及び } \text{NO}_2 \text{ が同時測定されている時間のNO} + \text{NO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和})$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第6号（埋立地関連）

浮遊粒子状物質測定結果 [平成27年12月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	1時間値の 最高値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	
日	1 (火)	0.027	0.056	
	2 (水)	0.029	0.049	
	3 (木)	0.022	0.039	
	4 (金)	0.017	0.037	
	5 (土)	0.018	0.040	
	別	6 (日)	0.021	0.041
		7 (月)	0.015	0.034
		8 (火)	0.019	0.050
		9 (水)	0.023	0.044
		10 (木)	0.030	0.052
値		11 (金)	0.017	0.032
		12 (土)	0.021	0.040
		13 (日)	0.022	0.042
		14 (月)	0.025	0.043
		15 (火)	0.028	0.051
	16 (水)	0.022	0.051	
	17 (木)	0.010	0.024	
	18 (金)	0.012	0.029	
	19 (土)	0.011	0.028	
	20 (日)	0.020	0.041	
21 (月)	0.027	0.041		
22 (火)	0.025	0.043		
23 (水)	0.023	0.037		
24 (木)	0.023	0.044		
25 (金)	0.022	0.049		
26 (土)	0.023	0.042		
27 (日)	0.024	0.056		
28 (月)	0.013	0.030		
29 (火)	0.008	0.020		
30 (水)	0.017	0.038		
31 (木)	0.021	0.052		
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		739		
月平均値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )		0.021		
日平均値の最高値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )		0.030		
1時間値の最高値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )		0.056		
1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。  
 その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）  
 は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号（埋立地関連）

気象観測結果（風向・風速）[平成27年12月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向  16方位
		平均 風速  (m/s)	最大風速		
			風速  (m/s)	風向  16方位	
日	1 (火)	1.1	1.9	NNE	NNE
	2 (水)	0.8	1.7	NNE	ENE
	3 (木)	1.7	3.3	WNW	WNW
	4 (金)	3.5	5.0	WNW	WNW
	5 (土)	1.6	2.7	WNW	WNW
別	6 (日)	0.7	1.4	NNE	NE
	7 (月)	1.0	2.0	E	NNE, N
	8 (火)	1.0	2.2	ESE	ESE
	9 (水)	0.8	1.7	ESE, E	E, ESE, CALM
	10 (木)	1.1	1.7	NNE, NE	NNE
	11 (金)	2.2	4.7	W	NW
	12 (土)	0.8	1.6	NW	NW
	13 (日)	0.8	1.8	W	NNE
	14 (月)	0.6	1.6	E	CALM
	15 (火)	0.8	2.1	WSW	WSW
値	16 (水)	2.0	4.1	WNW	WNW
	17 (木)	2.3	3.9	WNW	WNW
	18 (金)	1.1	2.5	NW	NW
	19 (土)	1.3	2.8	NNE, N	NW
	20 (日)	0.8	1.3	E	E
	21 (月)	0.7	1.4	S	CALM
	22 (火)	0.8	2.1	NW	NNE, CALM
	23 (水)	1.1	1.6	NNE	NNE
	24 (木)	0.7	1.7	N	WNW, CALM
	25 (金)	1.1	2.6	WNW	WNW
	26 (土)	2.1	3.7	WNW	WNW
	27 (日)	1.5	3.0	WNW, W	WNW, NW, N
	28 (月)	0.9	2.7	WNW	WNW
	29 (火)	1.2	2.6	WNW	WNW, NW
	30 (水)	0.6	1.5	SSW	ESE
	31 (木)	1.4	4.0	WSW	WNW
測定時間 (時間)		744			
月平均風速 (m/s)		1.2			
月最大風速 (m/s)		5.0			
月最多風向 (16方位)		WNW			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

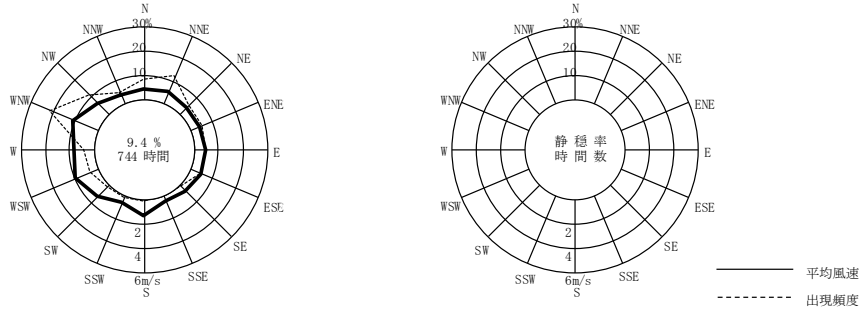
風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成27年12月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	91	43	40	38	35	8	1	5	7	8	26	29	156	85	38	64	70	744
頻度 (%)	12.2	5.8	5.4	5.1	4.7	1.1	0.1	0.7	0.9	1.1	3.5	3.9	21.0	11.4	5.1	8.6	9.4	-
平均風速 (m/s)	1.1	0.9	0.9	1.0	1.0	0.7	0.5	1.3	0.6	1.2	1.9	1.6	2.2	1.2	0.8	0.9	0.2	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成27年12月分]



水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）〔平成27年12月分〕

調査日：平成27年12月1日

項目	調査点					最小値	～	最大値	平均値	
	1	2	3	4	5					
時刻	8:55	8:33	9:16	10:00	9:43	—			—	
透明度 [m]	6.6	3.8	6.8	5.0	4.9	3.8	～	6.8	5.4	
水温 [°C]	16.5	17.0	16.9	17.2	17.5	16.5	～	17.5	17.0	
	18.2	17.8	18.2	17.9	17.7	17.7	～	18.2	18.0	
塩分 [—]	28.15	26.60	29.20	28.59	30.27	26.60	～	30.27	28.56	
	31.66	31.53	31.63	31.79	31.76	31.53	～	31.79	31.67	
濁度 [度(カリン)]	0.9	2.1	0.7	1.0	1.1	0.7	～	2.1	1.2	
	1.8	1.2	0.6	3.3	2.4	0.6	～	3.3	1.9	
浮遊物質 (SS) [mg/L]	<1	1	<1	<1	1	<1	～	1	1	
	1	<1	<1	2	1	<1	～	2	1	
水素イオン濃度 (pH) [—]	8.1	8.0	8.1	8.1	8.1	8.0	～	8.1	8.1	
	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	～	8.1	8.1	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	2.2	3.1	2.2	2.3	2.2	2.2	～	3.1	2.4	
	2.0	1.9	2.0	2.1	2.1	1.9	～	2.1	2.0	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	7.9	7.6	7.8	7.6	7.5	7.5	～	7.9	7.7
		6.8	7.3	7.5	6.9	7.1	6.8	～	7.5	7.1
	飽和度 [%]	96	92	96	94	94	92	～	96	94
		87	93	96	88	90	87	～	96	91
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.73	0.78	0.54	0.70	0.52	0.52	～	0.78	0.65	
	0.32	0.35	0.28	0.30	0.30	0.28	～	0.35	0.31	
全燐 (T-P) [mg/L]	0.073	0.080	0.058	0.072	0.099	0.058	～	0.099	0.076	
	0.047	0.041	0.036	0.042	0.040	0.036	～	0.047	0.041	
クロロフィル a (chl. a) [ $\mu$ g/L]	1.9	3.5	1.6	2.1	3.0	1.6	～	3.5	2.4	
	1.8	1.8	1.6	2.0	2.3	1.6	～	2.3	1.9	

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------